

ひので映画大使最新版

第42回映画大使「さよなら渓谷」

期 日 平成25年9月28日(土) イオンシネマ日の出での公開初日
 場 所 イオンシネマ日の出

【作品紹介】

緑豊かな渓谷で、幼児殺害事件が発生した。容疑者として逮捕された母親の、隣の家に住んでいる尾崎俊介(大西信満)に母親との不倫疑惑が浮かぶ。それは尾崎の妻かな子(真木よう子)の証言によるものであった。事件取材する雑誌記者の渡辺(大森南朋)は、調べを進める内に、尾崎夫妻を巡る、15年前の衝撃の事実を知る事に…。

『悪人』『横道世之介』などの芥川賞作家・吉田修一の作品を映画化。西多摩の美しい渓谷でロケが行われたこの作品、ひので映画大使もエキストラで参加しました!(R15+作品)



(C)2013「さよなら渓谷」製作委員会

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。



▶ 映画大使の「第一声！」

重い内容の中に描かれる、愛の形に感動！

出演者達の演技が素晴らしかった！

エキストラで参加しましたので、なお印象に残ります。

▶ 映画大使の「映画のツボ！」

Aさん

幸せになる事を望まなかった男が、最後に幸せを求める姿が印象的でした。すごく心理的な映画でしたね。奥深かったです。緑の風景が綺麗でしたね。

Bさん

すぐに感想を言うのが難しい作品ですね。「さよなら渓谷」というタイトルはどういう意味なのでしょうね。作者の意図が知りたいですが、ラストシーンと関連があるのでしょうか。演技派の役者さんが揃っていましたね。

Cさん

現実的にはありえない話だと思います。テーマが重すぎて少し疲れましたが、人間というのは、歯車が一つ狂うと大きなシコリを残してしまうのかと感じました。自分自身への教訓にもしたいと思います。

Dさん

去年エキストラに出ましたので、印象深いです。男は贖罪のため、女は憎しみのために一緒に暮らしていても、やがてお

互いの心に変化が生じ、それが周りの目からは幸せそうな2人に映ったのでしょうか。幸せになろうという気持ちが逆に2人を引き離すというのが悲しいですが、ラストでは希望が見えました。

Eさん

観る前の印象では、最後は後味が悪いのかと思っていましたが、観終わって予想外に後味が良かったです。取り返しのつかない事をしてしまったけど、この男が本当の極悪人ではないからなのでしょうね。作品の作り方が淡々としていて、セリフも少なく、沈黙も多かったのも、役者さん達も、誤魔化した演技が出来なかったと思うのですが、見事でしたね。目つき、表情、動きでセリフ以上の事を語る作品だと思いました。徐々に作品の中に引き込まれていく感じで、上手く作られていたと思います。

Fさん

私は原作を読みましたが、どちらかという加害者側の描写が多い原作に対して、映画では加害者と被害者の描写のバランスが良かったように感じました。取り返しのつかない事をしてしまった人間が、その後どうしたらいいのか、という部分に着目して観たのですが、皆さんの意見を聞いている内に、それでも人は幸せになってもいいんだって想いになりました。命がけで贖罪すれば何かを取り戻せるんだってという事にも気付かされましたし、希望も見いだせました。自分だったらどうするか？という事を感じさせられました。

Gさん

被害者と加害者の心理が凄く上手く伝わってきて、両方の立場から考えられる映画だったですね。真木よう子さんは椎名林檎さんが作った主題歌も歌っていましたが、合っていましたね。一つの事件でも、被害者と加害者の色々な心理があるんだなって思いました。2人が幸せになって欲しいという想いが残ったので、思ったより暗くもなく、秋川渓谷の綺麗なシーンにも心を現れました。

📌 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・男性と女性では観方が違ってくると思います(被害者と加害者という立場で)。
- ・エキストラで参加しましたが、少し映っていたのが分かって嬉しかったです！
- ・私が参加したレストラン(羽村のレストランで撮影され、エキストラで大使が動員されました)のシーンは丸ごとカットでした…。
- ・希望の光と渓谷の美しい光が重なっているようでした。
- ・フィクションとして観ないと辛いですね。人の心理を描くというテーマを感じ取って欲しいと思います。

📌 まとめ

冷酷な性犯罪の被害者と加害者。この2人が一緒に暮らすという、常識ではありえない状況の中で淡々描かれる愛、憎しみ、贖罪といったテーマは重く、しかし男による汚れが結びつけた筈の2人の間に生まれる清らかな「何か」。

難しく、暗いテーマであり、また見方にもよると思いますが、私自身は、最後は純粋に「絆と愛」について考える事の出来る作品だと感じました。

この作品は昨年の日の出町でもロケが行われ、映画大使の方もエキストラで参加しました。エンドクレジットでは、「出演者」として「ひので映画大使」が大きくクレジットされました。今回はエキストラに参加された方を招待しましたので、皆さん大変喜んでいました。

10月11日(金)までの期間限定で上映されます。劇場をご覧ください。

➡ [関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

➡ [関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

問合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係
電話042-597-0511(内線541)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶